

誰もが安心して暮らせる福祉の町づくり



第82号  
2024.1.1

# ちくぜん

## 社会福祉協議会だより



ボランティア団体「野いちごの会」の作品と会員のみなさん



新年のご挨拶 ..... 2P  
連載 福祉教育のススメ ..... 3～5P  
報告・福祉入門講座 ..... 6～7P

まごころ商品物販会・  
ボランティア連絡協議会 ..... 8P  
募集・お知らせ ..... 9P  
支え合いだより ..... 10P

発行編集 / 社会福祉法人 筑前町社会福祉協議会

メールアドレス chikuzenshakyo@tea.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.chikuzen-shakyo.or.jp/>  
〒838-0215 朝倉郡筑前町篠隈373 コスモスプラザ福祉館内 ☎0946-42-4555 FAX0946-42-5941

## 新年のご挨拶

社会福祉法人 筑前町社会福祉協議会

会長 山本 秀二

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

旧年中は、社会福祉協議会の事業活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

し、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。赤い羽根共同募金につきましてもご協力を頂き誠にありがとうございます。



さて、新型コロナウイルス感染症も5類移行を機に、徐々にコロナ禍前の生活に戻りつつあります。しかしながら、未だ生活の困窮が続いている人、社会的に孤立する人も多く地域社会とのつながりの希薄化などにより様々な課題が複雑化しています。

本協議会といたしましても、社会状況の変化に対応し、地域生活課題に一体的に支援できる体制を整え、相談支援・寄り添い支援及び地域づくりに向けた支援を行政や社会福祉法人、地域住民などの関係機関と協働して取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして幸多き年になりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新年のご挨拶

筑前町 町長 田頭 喜久己

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年までは、新型コロナウイルス感染症によって地域に向くことができない活動制限のある社会生活が続きました。地域に寄り添い献身的に取り組んでこられた社会福祉協議会にとっては、長い葛藤の期間を乗り越え新たな活動を模索してこられたことでしょう。その新型コロナウイルス感染症が収束に向かい、活気ある姿が見え始めた一方、各国で繰り返された戦争、物価高騰などの影響により子どもたちをはじめ弱い立場にある人々が苦しんでいます。

こうした急速な社会変化は、経済的な格差拡大を助長し社会的に孤立する人々や生活困窮者を増加させています。この影響は各家庭にも反映され個人が抱える問題も複雑化し、解決を一層困難なものにしています。これからも関係機関が連携し対応することが不可欠です。

社会福祉協議会におかれましては、本町のボランティア活動の推進など新たな取り組みをはじめ、サービス事業や障がい者相談支援事業など、数多くの委託事業において充実した事業を展開していただいております。町の福祉事業に欠かすことができない存在であり、その活動に感謝しています。今後も誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる筑前町を目指し、創意工夫をしながら事業を推進していただきたいと思います。

最後になりますが、社会福祉協議会のみならずのご発展と地域の皆様のご多幸を祈念しまして新年のあいさつとさせていただきます。



連載

# 福祉教育のススメ

9月～11月にかけて、町内の小中学校で福祉の授業が実施され、社協職員が福祉教育サポーター(ボランティア)さんと一緒に参加させていただきました。



三輪中学校(1年生)

9/11月  
9/12火  
9/13水  
9/14木  
9/15火

ふくについて

視覚障がい体験

車いす体験

妊婦・高齢体験

振り返り学習

最初に福祉のことや町内での取り組みを学習し、「ふだんのくらしのしあわせ」を考えました。その後、3つの福祉体験を実施しました。車いす体験では、より当事者のことを理解するために、ケガをした状態を想定し体験をしました。

最後の振り返り学習では、「ともに生きる」ために自分たちができることをグループで話し合い、クラスごとに模造紙に貼りだしました。特定の誰かではなく、すべての人に対して自分ができることを考えることができました。



夜須中学校(1年生)

10/12木

車いす体験

視覚障がい体験

妊婦・高齢体験

車いす体験では、ふだん歩いている校内を車いすを使って移動することで、目線や移動のしやすさの違いなどに気づくことができました。視覚障がい体験では、アイマスクを着用して折り紙をすることで、視覚の代わりに触覚が大切なことを学習しました。また、アイマスク&白杖体験で相手の思いを考えながらガイドをしました。

妊婦・高齢者体験では、自分たちの将来を見据え我が事として実感しながら、できることを考える機会となりました。



## 三並小学校(4年生)

10/4 水  
10/17 火  
10/25 水  
11/1 水  
11/8 水

車いす体験

知ってる?赤い羽根共同募金

知ってる?ボランティア活動のこと

GT深町恵美子さん・視覚障がい体験

コスモスプラザ見学(ユニバーサルデザイン)

自分たちが取り組める活動のひとつとして、福祉教育プログラム「知ってる?赤い羽根共同募金」を学習しました。学習後、ドラえもん募金箱を全員で作り、他学年へ募金の声掛けを行ってくれました。視覚障がい体験では、視覚に障がいのある深町恵美子さんに日常生活の話をしていただき、児童の名前を点字で打ってもらいました。実際に児童が深町さんのガイドを体験し、緊張しながらも安心する声掛けと誘導をすることができていました。



※GT: ゲストティーチャー

## 中牟田小学校(4年生)

10/5 木  
10/11 水  
10/16 月  
10/18 水  
10/19 木  
10/20 金

知ってる?赤い羽根共同募金

知ってる?ボランティア活動のこと

GT林賢治さんの話

車いす体験

車いすユーザーの林賢治さんに、生まれた頃のことや日常生活の話をしていただき、生活の工夫を知ることができました。車いす体験では、自走体験で車いすに乗っている人の気持ちを理解し、介助体験で安心する声掛けの仕方や安全な使い方学びました。11月に開催された学習発表会で、「思いやりのにじ」というタイトルで、福祉教育で学んだことを発表してくれました。



### 三輪小学校(4年生)

- 10/10 火
- 10/11 水
- 10/13 金
- 10/17 火
- 10/20 金
- 10/26 木
- 10/27 金
- 10/31 火
- 11/6 月

G T 深町恵美子さん・視覚障がい体験  
知ってる？ボランティア活動のこと

G T 池田弘文さん・手話体験  
知ってる？赤い羽根共同募金

聴覚に障がいのある池田弘文さんと手話通訳の野寄千恵さんから、日常生活の話やあいさつの手話・指文字を学びました。その他に、車いす・視覚障がい体験や赤い羽根共同募金、ボランティア活動のことなどを6月から11月の間に総合的な学習のなかで進めてきました。



11月に開催された「みわつ子文化祭」では、これまでの学びや体験をふり返り、自分たちができることを全校児童に伝えていました。多くの学習を通して、違いを認めお互いに支え合うことの大切さを理解し実践する姿にうれしさと成長を感じました。



### 東小田小学校(4年生)

- 11/16 木
- 11/17 金
- 11/20 月
- 11/21 火

G T 深町恵美子さん・視覚障がい体験

G T 林賢治さん・車いす体験

視覚に障がいのある深町恵美子さんと車いすユーザーの林賢治さんから、日常生活の話や聞きました。困ることもあるけれど、自身の回りのことは自分で行い、私たちと同じように、できないことは工夫して過ごしていることがわかりました。自分たちと違うところもあれば同じところもあるということも学びました。

アイマスクと白杖を使った視覚障がい体験と車いす体験では、相手の気持ちを思い、みんなが安心できる生活を考える機会となりました。



**報告**  
赤い羽根共同募金配分金事業  
**令和5年度ひとり暮らし  
高齢者のつどいを開催しました**



11月7日(火)、13日(月)にひとり暮らし高齢者のつどいを開催しました。  
今回は、2日間で55人が参加し、糸島市の伊都菜彩と伊都の湯どころ(伊都ダイニング)に行きました。  
3年ぶりの開催だったため、開催を心待ちにされていた人や久しぶりの再会に喜ばれた人など明るい車内でした。また、初めて参加した人もいて、「一人でご飯を食べるよりもみんなでご飯を食べられるっていいね」と笑顔で話していました。

**報告**  
赤い羽根共同募金配分金事業  
**令和5年度障がい者のつどい  
「ボッチャ体験・交流会」を開催しました**



11月18日(土)に筑前町農業者トレーニングセンターでボッチャ体験と交流会を開催しました。総勢42人の参加があり、その内17人が幼児・児童の皆さんでした。  
ボッチャ体験では各チームで話し合いながら作戦を練り、一投ごとに盛り上がりを見せていました。ボッチャ体験後の交流会では感想を一人ひとり発表していただき、みんなで感想を共有しました。  
町内の障害福祉サービス事業所「ほっとスペースあさくら」で作られたお菓子の参加賞を手に、最後まで笑顔の絶えないつどいとなりました。

**報告**  
赤い羽根共同募金配分金事業  
**金婚祝い**



今年度は、お申し込みいただいた31組のご夫婦に結婚50周年のお祝いとして、記念品の「フォトフレーム」に絵手紙を添えて贈呈しました。  
お二人の末永きご健康とご多幸をお祈りいたします。

## 福祉入門講座「集まる×楽しむ×ツナガル 地域づくりのススメ」を開催しました。

11月25日(土)に働く世代を対象に、出会いと交流を目的とした講座を行い、21人の参加者が集まりました。

第1部は講師を招きお菓子づくりを行いました。初めて会う人たちばかりでしたが、一緒に作ることで緊張も解け、温かく和やかな雰囲気で作ることができ、楽しいつながりをもつことが出来ました。

第2部では座談会を行いました。町のいいところ、興味をもっていること、地域でやってみたいことなどを自由に出し合い、人や地域とのつながりについて考えました。

地域について改めて目を向け、いろいろな人と交流することで、「つながることの大切さ」を実感できる講座となりました。

### 参加者の声

- ・色んな方と出会えて、色んなお話ができるのは楽しいですね。子育ても落ちついてきて時間ができたので、このような会に参加して、たくさん友達を増やせたらなと思いました。
- ・お菓子作りも楽しく、班の人と話す時間も沢山あり、まさに「つながり」をもてたイベントでした。
- ・筑前町に住んで長年経ちますが、町の良い所や悪い所、今後の事を真剣に考えたことがなかったので良い機会になりました。



そったく基金を活用し、11月28日(火)に介護者11人で英彦山の龍門峡に行きました。「日田天領水の里 元気の駅」では足湯につかりゆっくりしました。龍門峡での紅葉狩りは散り紅葉を楽しみました。美しい大権現庭園を横目に散策しながら、交流を深めていました。

参加者からは「色んな方のお話が聞けて良かった」や「外に出ると気分が晴れます」との言葉もありました。

今年度最後の介護者のつどいを2月に開催します。(関連記事P.6)

### 報告

在宅介護者リフレッシュ事業

「介護者のつどい」を開催しました



12月6日(水)、12日(火)に4年ぶりのいきいきサロン合同交流会を開催しました。

今回は、コスモスプラザふれあいホールで2日間実施し、216人(20区)が参加しました。

サロン会員のみなさんは、終始笑顔で楽しんでいる様子でした。

### 報告

いきいきサロン事業

「いきいきサロン合同交流会」を開催しました

## 筑前町地域自立支援協議会 まごころ商品物販会報告

11月11日(土)にファーマーズマーケットみなみの里で「まごころ商品物販会」が開催されました。町内の障害者施設の皆さんがまごころを込めて作った野菜やお菓子、プレスレットや絵はがきなど、さまざまな商品が販売されました。また今回は、出店事業所の紹介パネルを設置しました。

これからもより多くの人に町内の障害者施設を利用している人の活動を知っていただけるよう取り組んでいきます。



## 筑前町ボランティア連絡協議会 (以下=ボラ連) 視察研修報告

これまでボラ連で長年取り組んできた防災をテーマに「福岡市防災センター」と、自分たちが住んでいる県をより知るために「福岡県庁」へ会員25人で11月15日(水)に視察研修をしました。

防災センターでは、地震体験や、消火器・けむり体験、救急救命の動画視聴などさまざまな災害等を学び、改めて災害の怖さや、防災意識の必要性を考える機会になりました。参加した会員からは、「以前も体験しましたが、年数が経過すると記憶が薄れていることに気づきました。災害は忘れた頃にやってくると伝えられているように、日頃からできる備えと心構えを再確認できました。」という声が聞かれました。

県庁では、庁舎内を見学しながら、職員から県庁のことや、県内の特産品や伝統工芸品等を詳しく説明してもらい、より深く福岡県を知る機会になりました。視察研修を通して、今後のボラ連事業やボランティア活動に活かしていきます。



▲地震の揺れ体験

▼福岡県庁「福岡よかもんひろば」



ご寄付  
ありがとう  
ございました。

(令和5年9月1日～  
令和5年11月30日)



香典寄付

25件

828,000円

物品寄付

1件

ポータブル水洗トイレ

物品寄付については、掲載の承諾をいただいた方のみ記載しています。

※皆様からいただきました心温かいご寄付は、筑前町の社会福祉のため、有効に活用させていただきます。



募集  
在宅介護者リフレクシユ事業  
「介護者のつどい」を開催します

障がい者(児)や高齢者を自宅で介護している家族(介護者)の心身のリフレクシユを図ることを目的に「介護者のつどい」を開催します。

日時 2月20日(火)10時~14時  
場所 めくばー健康福祉館

内容 博多笑い塾 演芸ショー  
対象者 障がい者(児)や高齢者を自宅で介護している家族

募集人数 40人  
参加費 1,000円

申込締切 2月9日(金)

電話 0946-4214555  
※この事業は「そつたく基金」を活用して  
ます。



▲昨年の「介護者のつどい」の様子

お知らせ

ホームページリニューアル

令和5年12月にホームページを全面リニューアルしました。社協の目的、福祉や地域の情報をより探しやすい、分かりやすくお届けできるようにデザインやページ構成を新しくしました。今後もホームページの内容の充実を図るとともに、最新の情報を発信していきますのでぜひご覧ください。



心配ごと相談

日常的な悩みや困りごとなどを相談する窓口を開設し問題解決の手助けを行います。

日にち 1月 5日・19日  
2月 2日・16日  
3月 1日・15日  
4月 5日・19日

場所 コスモスプラザ保健館  
相談室6、相談室2

障がい相談

障がいに関する多様な相談に、障害者相談支援専門員が応じます。

日にち 1月 5日・19日  
2月 2日・16日  
3月 1日・15日  
4月 5日・19日

場所 コスモスプラザ福祉館  
会議室7

毎月第1・第3金曜日 13時30分から16時まで  
☆秘密はかたく守りますので、気軽にご相談ください☆  
※予約は不要です。

# 支え合いだより

Vol.3  
10/10/10

## つどいの場 紹介

筑前町には、地域独自で活動する「つどいの場」が4か所あります。「つどいの場」とは、その地域に住む誰もが気軽に集まり、おしゃべりやレクリエーション等の内容を企画し、ふれあいを通して「生きがいづくり」「仲間づくり」をする**住民主体の活動**です。

### 朝日西居場所づくり

第4金曜日

区民の人が元気で長生きできるように、人と人のつながりを作り、助け支え合える地域づくりを目指しています。



### くりた 結の会

第1, 3月曜日

地域での孤立を防ぐために地域ボランティアが集まり、みんなで集える場を作っています。



### 四三嶋 すこやかサロン

毎週火曜日(第4火曜日除く)

ゲームや体操、脳トレ、折り紙など、参加者のやりたいことをやりながら地域交流の場を作っています。



### 三箇山 きずかい

無医地区診療終了後

「せっかく集まる機会があるのだから、もっとみんなでワイワイ楽しい時間を過ごせないだろうか」という気持ちで実施しています。



★地域支え合い推進員が「つどいの場」立ち上げのお手伝いをします。  
興味のある人は、気軽にご相談下さい。



社会福祉法人 筑前町社会福祉協議会  
<http://www.chikuzen-shakyo.or.jp/>

〒838-0215  
福岡県朝倉郡筑前町篠隈373 コスモスプラザ福祉館内  
TEL 0946-42-4555 FAX 0946-42-5941